

國際法外交雜誌

第108卷 第1号

2009年5月

論 說

La motivation des désions des juridictions internationales

Professeure à l'Université Paris I—Panthéon Sorbonne Hélène RUIZ FABRI 1

研究ノート

契約における国家の同意に
もとづく裁判権免除の否定

東京大学大学院特任研究員 坂 卷 静 佳 42

國際政治をめぐる「理論」と「歴史」
——E・H・カーを手がかりとして——

名古屋商科大学専任講師 山 中 仁 美 66

資 料

判例研究・國際司法裁判所

カシキリ／セドゥドゥ島事件

(ボツワナ／ナミビア) (判決：1999年12月13日)

國際司法裁判所判例研究会 83

2009年の國際刑事裁判所の裁判官選挙の
結果と今後の課題

外務省國際法局國際法課長 岡 野 正 敬 95

紹 介

山根裕子著『知的財産権のグローバル化
——医療品アクセスと TRIPS 協定』

東京大学教授 中 川 淳 司 106

Stephen C. McCaffrey, *The Law of
International Watercourses 2nd ed.*

東京大学大学院博士課程 坂 本 尚 繁 111

会 報

國際法外交雜誌

第108卷第2号

2009年8月

論 説

非国家主体と国際法

——法秩序原理の転換に関する試論——

国際基督教大学教授 最上敏樹 1

武力紛争法におけるテロリストの位置づけ

同志社大学教授 新井京 28

国際私法における公序と人権

ケルン大学特別研究員 西谷祐子 57

研究ノート

テロリズムと人権

——テロ被疑者の処遇を素材として——

新潟国際情報大学准教授 熊谷卓 91

紹 介

中村道著『国際機構法の研究』

一橋大学教授 佐藤哲夫 120

浅田正彦・戸崎洋史編

『核軍縮不拡散の法と政治』

防衛大学教授 村井友秀 126

主要文献目録

国際法

藤澤巖・堀口健夫 131

国際私法

實川和子・樋爪誠 153

国際政治・外交史

戸田真紀子・真嶋麻子 169

会 報

国際法学会2009年度（第112年次）春季大会

185

國際法外交雜誌

第108卷 第3号

2009年11月

論 説

不干渉原則における jurisdiction (compétence) 概念の意味
——客観法・主観法の議論枠組の視点から—— 千葉大学准教授 藤 澤 巖 1

EU における権限の生成
——民事司法協力分野における権限を素材として—— 専修大学法学部教授 中 西 優 美 子 31

研究ノート

国際裁判における推定の法構造
——事実認定の性格理解の観点から—— 東京大学大学院博士課程 中 島 啓 61

資 料

国連国際法委員会第61会期の審議概要 国際法委員会研究会 91

紹 介

中川淳司著『経済規制の国際的調和』 学習院大学教授 阿 部 克 則 157

会 報

国際関係法教育検討委員会報告書 163

学会改革検討委員会報告書 172

国際法学会の法人問題に関する報告書 178

第41回・第42回安達峰一郎記念賞 186

國際法外交雜誌

第108卷 第4号

2010年1月

論 説

- So-called Targeted Killings in Volatile Occupied Territories
—Critical Appraisal through the Concept of Direct Participation
in Hostilities and the Principle of Proportionality
Senior Lecturer, University of Kent Yutaka ARAI-TAKAHASHI 1
- 米国特許法の域外適用と国際私法上の公序 上智大学教授 出口 耕 自 48
- 人間の安全保障と国際安全保障の相克
——冷戦期国家安全保障を支えた国際政治の論理—— 上智大学教授 吉 川 元 69

資 料

- 判例研究・国際司法裁判所
ある種の財産事件（リヒテンシュタイン対ドイツ）
（先決的抗弁判決・2005年2月10日） 国際司法裁判所判例研究会 105
- 解説・日本の国際法判例（4）
——2005（平成17）年—— 「日本の国際法判例」研究会（第2期） 120

紹 介

- 村瀬信也・洪 恵子共編『国際刑事裁判所
最も重大な国際犯罪を裁く』 関西大学名誉教授 藤 田 久 一 174
- Chester Brown, *A Common Law
of International Adjudication* 長崎県立大学准教授 李 禎 之 180

会 報

- 国際法学会2009年度（第112年次）秋季大会 185
- 主要文献目録について 203
- 総 目 次 208